

学位論文審査の要旨

学位申請者	GARMAEVA OLGA 2021年3月 単位修得退学	論文題目	異なる難易度の文法項目に対する処理指導の効果についての研究:ロシア語を母語とする日本語学習者を対象に
審査委員	主査:	森山 新 教授	学位論文の全文公表の可否: 否 「否」の場合の理由 <input type="checkbox"/> ア. 当該論文に立体形状による表現を含む <input type="checkbox"/> イ. 著作権や個人情報に係る制約がある <input type="checkbox"/> ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている <input checked="" type="checkbox"/> エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている <input type="checkbox"/> オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている ※本学学位規則に基づく学位論文全文のインターネット公表について
	副査:	西坂 祥平 助教	
	副査:	野口 徹 教授	
	審査委員:	李 址遠 講師	
	審査委員:	早川 杏子 准教授 (一橋大学)	
学位名称	博士 (人文科学)		
(英語名)	(Ph. D. in Applied Linguistics)		

学位論文審査・内容の要旨

本研究は、ロシア語母語日本語学習者を対象に処理指導の効果を検証することを目的とし、ゼロ初級学習者を対象に処理指導と産出指導の効果を事前・直後・遅延の理解テスト・産出テストによって測定した。研究1では助数詞、研究2では動詞過去形(丁寧体・普通体)の2種類を対象とした。複数の対象文法項目に対する指導効果の比較によって、対象項目の特性がそれぞれの指導の効果にどのような影響を与えるかについて明らかにした。

結果、研究1では処理指導は助数詞の意味と形式の関連付けを促進し、学習者の理解面と産出面ともに効果があった。まず理解の面では、処理指導の効果が認められたが、それは産出指導と同等であった。また、産出面でも処理指導の効果が認められたが、これも産出活動と同等であった。しかし処理指導を受けた学習者は、助数詞を脱落させる誤った戦略の使用が少なくなった。さらに、どちらの指導でも理解や産出が困難な項目があったが、処理指導のみに見られた特徴としては、「ほん／ぼん／ぼん」など、音韻的な変化を伴う助数詞の産出が困難であった。

研究2では、動詞過去形の丁寧体と普通体に対して処理指導と産出指導を行った。まず理解面では、両指導とも指導により得点が有意に高くなり、直後と2週間後の間で得点に有意差はなかった。全体として有意傾向であったが処理指導の効果は産出指導より高かった。なお、処理指導は丁寧体と普通体の得点に差はなかったが、産出指導グループは普通体が丁寧体を上回っていた。一方、産出面でも両指導に指導効果が認められた。直後テストでは、丁寧体では処理指導が、普通体では産出指導が高い得点を示した。また、それぞれの指導グループを個別に分析すると、処理指導は普通体より丁寧体の得点が有意に高かったが、産出指導では言語形式の差は見られなかった。言語形式の難易度から見ると、理解面では、処理指導は普通体のほうが丁寧体より難しかったが、産出指導ではその差が見られなかった。産出面では、処理指導では直後テストで丁寧体は容易であったが、普通体は直後テストでも遅延テストでも難しかった。一方、産出指導ではG1の-i動詞を除き、全ての丁寧体の項目が容易であり、普通体についても困難ではなかった。

以上の結果から、コミュニケーションを重視した日本語教室で文法を教える方法として処理指導が有効性が示された。なお、指導の効果は、指導の対象となる言語形式に左右され、形式的に単純な項目は処理指導の効果が高いが、複雑な項目については産出指導の方が効果が期待できることが明らかになった。

審査は二度行われた。第一次審査では11月24日に実施され、本研究が(ロシアにおける)コミュにカティブな日本語教育をテーマとするには不十分、不適切であるとの指摘が複数の審査委員から上がり、その他、用語の使い方や日本語の表現などの修正が求められた。その結果、テーマおよび論文の構成を処理指導の効果を明らかにする研究に変更した。修正原稿は2月9日に審査委員に送られ、結果、全員の審査委員より最終審査に進んでよいという結果を得た。公開発表会と最終審査は2月21日に行われた。公開発表会では、助数詞と動詞過去形の丁寧体・過去形に対する処理指導の効果を丁寧に説明し、質問に対してもわかりやすく適切に答えていた。そののちに行われた最終審査では、若干のさらなる修正依頼があったものの、博士(人文科学)、Ph. D. in Applied Linguisticsの称号を授与することが全員一致で認められた。